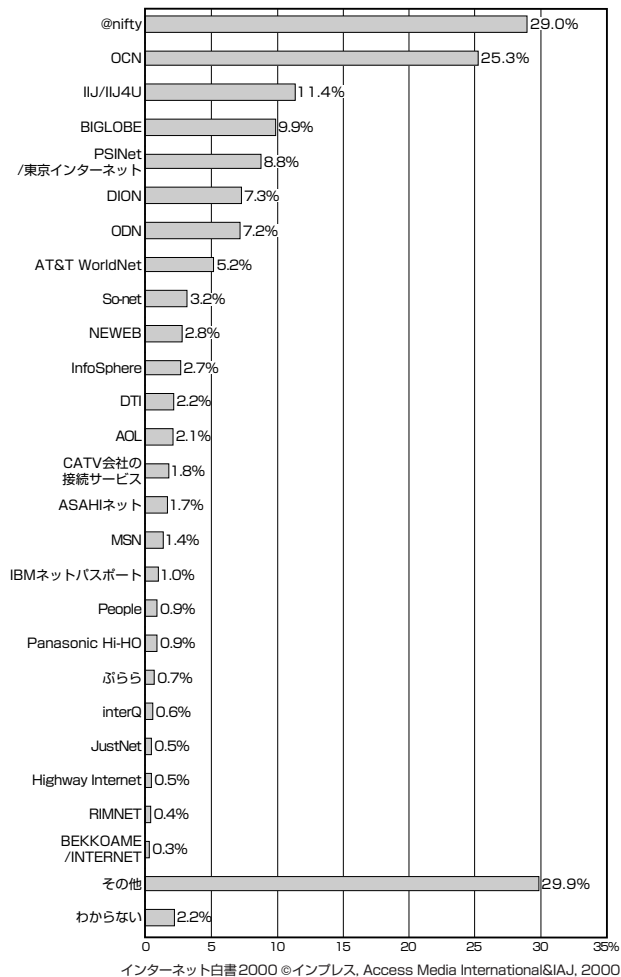


## 第4章 企業

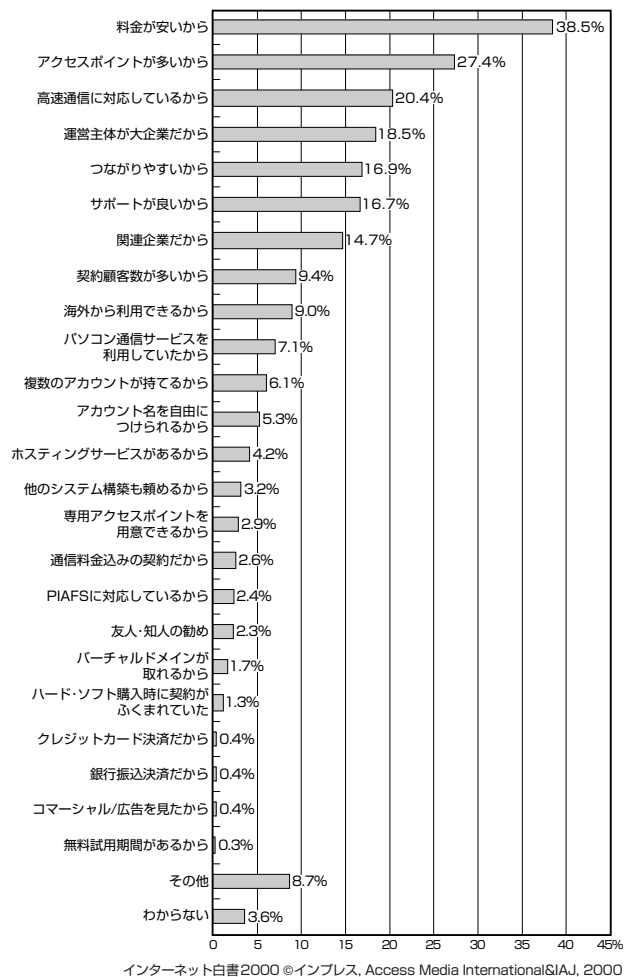
### 契約プロバイダー

### PSINet/東京インターネットが上位入り

資料1-4-9 主な契約プロバイダー N=1487



資料1-4-10 プロバイダーの選択理由 N=1487



## 解説

企業が契約している主なプロバイダー（資料1-4-9）は上位から順に「@nifty」（29.0%）、「OCN」（25.3%）、「IIJ/IIJ4U」（11.4%）、「BIGLOBE」（9.9%）、「PSINet/東京インターネット」（8.8%）と続く。昨年までの「NIFTY SERVE」と「InfoWeb」が、今年はサービスの統合により「@nifty」となり1位となっている。昨年1位であった「OCN」も2位ながら比率は昨年より伸ばしており、「IIJ/IIJ4U」も昨年の6位から3位に順位を上げている。「BIGLOBE」はやや順位を落とし、東京インターネットを吸収した「PSINet/東京インターネット」は5位と上位入りを果たしている。

個人利用者の調査同様、昨年までは「ODN」、「DION」、「テレウェイ」、「NEWEB」などを第二電電系としてまとめていたが今年から独立した項目としている。その結果、「DION」が6位、

「ODN」が7位となった。企業利用については、昨年同様に大手キャリア系のプロバイダーが確固たる地位を確保しているといえる。

プロバイダーの選択理由（資料1-4-10）は例年「料金」、「アクセスポイント」の上位2項目は不動であるが、今年の3位以下6位までは「高速通信に対応している」（20.4%）、「運営主体が大企業だから」（18.5%）、「つながりやすいから」（16.9%）、「サポートが良いから」（16.7%）である。特に「高速通信に対応している」は1998年10.8%、1999年14.3%と着実に増加しており、企業利用におけるキャリア系プロバイダー支持の高さを裏付ける結果となっている。また「料金が安いから」が50人未満のSOHO企業に支持されているのも特徴的である。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)